きりすとこどもえん　９月園だより

２０２１年度　年主題〈共に喜んで～すべての歩みの中～〉

0･1･2歳児９月主題「のびのび」

月のねがい

◎神さまが創られた自然を感じる。
◎賛美歌や聖書のお話に触れ、楽しむ。
◎保育者や友だちとのやりとりを楽しみながら、のびのびと過ごす。
◎やりたいことを存分に楽しむ。

3･4･5歳児９月主題　「心かよわせて」

月のねがい

◎遊びの中や礼拝の中で、神さまが創られたいのちのおもしろさやすばらしさに心をとめる。◎聖書の中の神さまの物語(ことば)を共に聴く。
◎友だちと時と場を共有して遊び、楽しさにも難しさにも心をかよわせて過ごす。
◎季節の移ろいの中、自然と触れ合い、その美しさやおもしろさや不思議さに心を動かしながら遊ぶ。

今月の聖句　「平和をつくるものは幸いです。」　マタイ5:9

「平和をつくる者」という言葉は本来一つの言葉で、聖書の中で唯一一回のみ登場する珍しい言葉です。もともとは称号であって、世の権力者や支配者に用いられる言葉でした。
平成が終わり、新しい元号「令和」が始まり三年目を迎えています。平成の天皇陛下は退位され、上皇となられました。退位なさるにあたって、前天皇陛下が語られた言葉の中に、「平成の世にあって、戦争が無かったことが何よりもの喜びでした」というお言葉がありました。日本の象徴として31年間仕えて下さった上皇さまに送る言葉があるとしたら、それがまさに「平和をつくる者」ではないでしょうか。もともとこの言葉はそのような立場の人に向かって使われるものであったのです。

園児たちに置き換えてみましょう。こども園という社会の中で、子ども達は多くの経験を積み、多くのことを学んでいきます。仲間と一緒に楽しい時を過ごします。時にぶつかり合うこともあるでしょう。泣いたり、笑ったり、相手を理解出来たり、出来なかったり…。こども園という輪の中で、まさにもまれて成長していきます。その一つひとつが子ども達にとってかけがえのない財産です。一人の子が醸し出した違和感やイライラが全体に飛び火することもあるでしょう。けれどもその逆で、一人の子が醸し出した寛容さが全体に広がることもあるはずです。そこに平和をつくる者たちの温かい、微笑ましい触れ合いが生まれ、子ども達の大きな成長の機会となります。９月になり、新型コロナウィルスのデルタ株が少しでも収束に向かい、子ども達の貴重な交わりが続けられるよう、祈ってやみません。

協力牧師　池田基宣

利用料見直しのお知らせ

現在の利用料額は，R1.1~12 期の所得額によって算定されております。R2.1~R2.12 期の市民税額における階層の変動に伴い，市による利用料の見直しが行われます。
９月分より保育料･給食費が変更になる世帯もあります。市より送付の利用料決定通知書でご確認下さい。

９月の行事予定

1 日（水）	始園日（1 号午前保育）
7 日（火）	誕生会（2 才以上 8･9 月生）
18 日（土）	すもう大会・弁当日
25 日（土）	父母の会役員会
30 日（木）	いもほり

１０月の行事予定

6 日（水）	運動会予行練習･弁当日
16 日（土）	第 64 回運動会
17 日（日）	運動会予備日
18 日（月）	振替休日（１号）
21 日（木）	秋の遠足（３才以上児）
22 日（金）	秋の遠足（０・１・２才児）
27 日（水）	おにぎり･スープパーティー

「諦めない心」　～本当の才能とは～

ここ数日は夏らしい天気になりましたが、かなり雨の多いハ月でしたね。今のところ台風の接近はありませんが、コロナと共に今後の台風も悩ましいところです。七月まではそれほどでもなかった本市のコロナウィルス感染も、八月を迎えると、あっという間に広がりを見せました。ほとんどが感染力の強いインド株に置き換わっているようです。それに伴い、児童や幼児への感染も増えているようで心配なところです。

さて、オリンピックが終わり、今はパラリンピックの真っ最中。思えば五年前もこの欄で、リオオリンピックでの感動を通して、最後まで諦めないことの尊さを熱く語ったことを思い出しました。コロナ禍での開催という賛否両論の東京オリンピック・パラリンピック。私自身は、開催が決まったからには、素直に応援したいと決めていました。この瞬間にすべてを賭けてきたアスリートたちの活躍に感動を、ひとり一人の物語に力をいただいたことに心からに感謝したいと思います。今回も終了の瞬間まで諦めずに戦い抜く姿は素晴らしかったですね。大リーガー大谷翔平選手の二刀流の大活躍はご承知のとおりですが、そこでよく比較されるのが元祖二刀流「ベーブ・ルース」。誰もが認める才能を持ったスーパースターにしても、『諦めない奴には誰も勝てっこない』という有名な言葉を遺しています。

そこで、とあるお話。ある靴メーカーがアフリカに進出しようと2人の調査員を現地に派遣しました。数日後にAから連絡が入りました。「社長！だめです。誰も靴を履いていません。」その直後、もう一人のBから連絡が入りました。「社長！大市場です。まだ誰も靴を履いていません。」と。Aさんは靴を履かない文化を目にして、靴を売ることを諦め、Bさんは靴を履かない文化を目にして、諦めずに靴を売るチャンスと捉えたのです。このBさんはアフリカ市場で大成功し、会社に大きく貢献したそうです。本当の才能とは、まさに「諦めない心」であると言えるのかもしれません。諦めさえしなければ、夢が叶う可能性は飛躍的に向上するわけで、ほとんどの人が成就しないのは、途中で諦めるからだと言われる所以です。「諦めない心」を生きる力の一要素と考えるならば、子どもたちだけに委ねるのではなく、達成感や成功体験、感動を数多く味わわせ経験値を積み重ねていくことこそ、大人の責任ではないでしょうか。

まさに二学期こそ、喜びに葛藤や挫折も味わう大切なとき。様々な行事も、状況によっては短縮や中止を余儀なくされるかも知れません。職員一同で知恵を絞り、出来る限りの環境を整えて経験を担保していきたいと願っております。まだまだ残暑が厳しい毎日ですが、そろそろ夏の疲れも出てくる頃です。早寝･早起き･朝ごはん･朝ウンチで、親子共々元気でいきましょう。行事の多い二学期も、引き続きご協力をお願い致します。

学園長

きりすとガールズコレクション

長い夏休み期間も終わり、いよいよ2学期がスタートします！自粛等もあり、夏季保育もできず、先生たちも子どもたちも、全員で集まれる日を楽しみにしていました。

夏休み中の子どもたちはというと、お祭りごっこ、水遊び、稲刈り、虫とりなど、元気いっぱい過ごしました。

3~5歳児クラスでは、男の子チーム、女の子チームに分かれて遊ぶ日を決め、それぞれで遊びを計画しました。男の子チームはダンボールで大きなお家を作り、餅まきならぬ、お菓子まきまでやりました。家の壁にお絵描きしたり、壁を紐でくくったりと、年少児には少し難しいことも、年中･年長児の助けがあることで、最後までやり遂げようとする姿がありました。女の子チームはカラーポリ袋でドレスや冠を作りました。細かい作業が大好きな女の子たちは、夢中になって飾り作りを楽しむ姿が見られました。年長･年中児がかわいい飾りを作っていると、「どうやってするの？」とお姉ちゃんたちに聞いたり、作る様子をじーっと見て、自分で真似してやってみようとする年少児さんがいたりと、子どもたちの関わりがよく見えました。そして、女の子たちがから「ドレスを男の子たちにも見せたい！」という希望もあり、お部屋にランウェイを作り、”きりすとガールズコレクション”を開催！！音楽に合わせて楽しそうに歩く女の子たちを見て、男の子たちも「可愛かったね」と拍手喝采。チョッピリ嬉し恥ずかしそうな女の子たちでした。約1ヶ月をかけて実施した活動を通して、子どもたちの「やりたい」が、「次はこうしたい」と広がりを見せました。年中･年長児の年少児を思いやる姿、年少･年中児が年長児に甘えたり憧れる姿等、異年齢の色々な関わりがよく見えたことが私たちのの嬉しい収穫でした。

2学期･3学期は大きな行事も控え、行事に向けての活動も多くなりますが、子どもたちとやりたいこと、楽しいことを見つけながら、過ごしていきたいと思います。2学期も子どもたちの成長を楽しみながら、見守り応援して盛り上げて行きましょう♪

松元

自分なりの目当てに向かって、自ら取り組もうとする

友だちと関わり合いながら一緒に遊ぶ事を楽しむ時期、保護者の方は我が子がひとりで遊んでいると心配し、友だちと遊んでいると安心しがちだと思います。しかし、私たち保育者は、友だちと遊んでいること自体が重要とは考えません。”自分のしたいことがあること”” 自分自身が対象に対して力を発揮していることが重要”だと考えています。そこで、この時期のねらいを『自分なりの目当てに向かって、自らも取り組もうとする』としています。

このねらいは、もちろん友だちと一緒に遊ぶことを否定するものではありません。友だちと遊ぼうとすることを否定されるのは子どもたちにとって自分の居場所をなくすようなショックなことでしょう。ですから友だちと一緒に遊ぶ中で、友だちと一緒に過ごすことだけが目的とならないよう、自分のしたいことを見つけ、それをやる充実感や満足感を味わえるように支えたいと思っています。ひとり一人が自分なりのこだわりや自分らしさを発揮できる生活をおくれるようにしたいものです。

編著：松元信吾
（広島大学附属幼稚園）